

## 報告事項

令和元年度事業計画及び予算について

(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

## 事業計画 方針

昨年6月の大阪府北部地震により学校施設のブロック塀が倒壊して女子児童が亡くなった。今回の事故は「経年劣化」と「不良施工」の2つが大きな要因であることから、当工業会は、まず経年劣化対策として昨年9月、一般市民向けにブロック塀の簡易診断ができるリーフレット「あんしんなブロック塀をめざして」を7万枚発行して、全国の会員を通して配布した。このリーフレットは、日本建築学会・組積工事運営委員会の監修によるブロック塀の診断カルテが掲載されており、一般市民でも簡単にブロック塀の簡易診断ができる。また経年劣化の判断には日本エクステリア建設業協会（JPEX）が推進する「ブロック塀診断士」が大きな役割を果たすことから、当工業会としても今後もJPEXへの支援を行っていく。

一方、不良施工対策として、施工技術者のレベルアップと地位向上を図るため「ブロック建築技能士」の育成に引き続き取り組んでいく方針です。毎年、人材育成委員会が中心となって全国の技能士会と連携して受検者向けの講習会を実施していますが、今年度も引き続き実施することで技能士を増やし、正しい知識と施工技術を身に付けてもらい、施工不良の撲滅を目指していく。また、全国連が中心となって各県の技能士会を取りまとめる「技能士連合会」の設立に取り組んでいるが当工業会としてもバックアップを図っていく方針です。

当工業会では、学科検定向けのテキスト「よくわかるブロック建築工事」を発行してきたが今回、より内容を充実した改定3版を1,500部印刷したが、会員各位のお陰を持ってこの1,500部はほぼ完売の見通しであることから今、増刷を検討しているところです。

さらにブロック塀の安全啓蒙を目的とした講習会を製品普及委員会が中心となって今年度、実施する計画で既に6月27日には仙台での開催が決まっている。この講習会は高松をはじめ全国各地でも開催する計画で準備を進めております。

また、工業会の事業基盤を高めるために本年度は会員の増強にも積極的に取り組んでいく方針です。既に川田副会長の尽力により九州地区で2社が新規加入することが決まっている。全国にはJIS A5406の認証工場が全国に106工場（4月1日現在）あるので、これら認証工場の中で工業会に加盟していないメーカーに入会を呼び掛けていく。

一方、我々会員の知見を広めることを目的に今年度「沖縄への視察」を実施する方針です。沖縄は日本の建築ブロック発祥の地とも言われており、名護市役所

の庁舎をはじめ様々なブロック建築を見ることができる。さらにブロックを立体彫刻として活用した名護市のシュガーホールや花ブロックを壁一面に組積した沖縄県警察運転免許センターなどブロックに携わる我々としても大変興味深い視察になるかと思う。

今年度は、①ブロック塀の信頼回復②技能士の増強・地位向上③会員の増強④会員の知見広める。この4つを柱に取組んでいきます。

## 事業計画（案）

### 1. 委員会活動の活性化

それぞれの委員会が業界の現状を十分認識して、活発に活動することで、業界全体の活性化と発展に寄与いたします。

#### ①運営委員会

- ・工業会全般についての方針決定、関係諸機関との連絡、提携及び協力。

#### ②コンプライアンス委員会

- ・JIS A 5406 建築用コンクリートブロックの改正への準備検討をする。
- ・日本建築学会の材料・施工関係の委員会、壁式構造関係の委員会へ委員の派遣。

#### ③製品普及委員会

- ・建築用コンクリートブロックの安全講習会を全国各地で実施。
- ・魅力的なホームページの作成  
ブロックの安全性、有効性、デザイン性等、各委員に役割を分担し、四半期毎にホームページの改訂資料を広報委員会に提供することで製品普及を目指す。

#### ④広報委員会

- ・機関誌 JCBA ニュース発刊
- ・カレンダー制作販売

#### ⑤構工法研究委員会

- ・作業現場の効率化に向けた提案と標準化（新しい目地構法の耐久性に関する実験結果報告・既調合モルタル）
- ・活動内容に基づき情報収集を行い、調査、研究を行う。
- ・取りまとめた資料、情報を会員企業に提供する。

#### ⑥人材育成委員会

- ・技能士試験対策として、講習会を全国数か所で開催、多くの受検生の獲得を目指す。

#### ⑦れんが研究委員会

- ・日本れんが協会と協働で工場視察や現場視察などを実施し、れんが及びブロック業界のこれからの経営者と幹部の育成と友情を築き、将来の危機に対応できる集団を目指す。

## 2. 講演会の開催

啓発、普及活動として、出席者の知識向上を図る内容の講演会を春、秋、2回開催することに努力いたします。

## 3. 内外における研修会の実施

内外におけるコンクリートブロックの現状を把握し、参加者自身で知識を吸収し、製品開発に役立、各社の事業拡大に貢献するために実施に努力いたします。

## 4. 技能士制度の啓発

関係諸機関、関連団体と連動して技能士制度の育成、PRに努めます。

## 5. プライベートガーデン推進運動の活性化

コンクリートブロックを使用した庭作りの推進を、各種の事業を通じて啓発して行きます。

## 6. 関係諸機関との提携及び連絡

関係学会・団体等に前年に引続き委員を派遣し、関係機関との連絡、調整に当たります。

- ・(一財) 日本規格協会
- ・(一財) 建材試験センター
- ・(一社) 日本建築学会
- ・(公社) 日本エクステリア建設業協会
- ・中央職業能力開発協会

## 7. 継続事業

- ・機関誌「J C B Aニュース」年4回の発行
- ・建築用コンクリートブロックカレンダーの制作販売
- ・パンフレット「あんしんなブロック塀をめざして」の有効活用
- ・ホームページの改編